

木屋の谷ため池 浸水域図 ※（ため池決壊水による浸水域）

浸水想定区域は、ため池が決壊したときに浸水すると予想される区域を示したものです。

この浸水予測にあたっては、ため池が満水時に決壊した場合を想定しており、異常な気象、洪水による地形条件等の変化や周辺の河川、水路のはん濫等を考慮していません。そのため、この浸水想定区域以外の周辺区域に想定以上の浸水が広がる可能性があります。

なお、図中に記載の時間は、ため池が決壊してから洪水が到達するまでの時間を示しています。

※状況に応じて適切に行動してください。

木屋の谷ため池

堤高：13.4 m
貯水量：152,000 m³

S = 1:10,000

上流域の雨量や河川水位にもご注意ください。

雨量・河川水位情報

山口県土木防災情報システム

パソコン用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/>

携帯用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/>

スマートフォン用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/sp/>



携帯用



スマートフォン用

QRコード

下関地方気象台

<https://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/>

気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

避難所一覧表

名称	所在地	電話番号
向道湖ふれあいの家	大向826-1	88-2722
大向市民センター	大向1653-1	88-0312
徳山高等学校 鹿野分校	鹿野下1228	68-2054
大向小学校	大向1652-1	-

医療機関一覧表

名称	所在地	電話番号
医療法人緑山会 鹿野博愛病院	大字鹿野下1161-1	68-2233
国民健康保険鹿野診療所	鹿野上宇字ヤノ原10910	68-2192

緊急連絡先

内容	問い合わせ先	電話番号
自主避難の連絡	市役所 防災危機管理課	22-8208 (閉庁時: 22-8332)
災害全般の通報	市役所 鹿野総合支所	68-2331
災害全般の通報	警察	緊急時: 110
救助・救急活動の要請	消防本部	22-8765 緊急時: 119
救助・救急活動の要請	北消防署	68-3699

令和3年2月24日作成

凡例

● 避難場所

■ ため池

浸水深

■ 5.0m以上

■ 2.0m～5.0m未満

■ 1.0m～2.0m未満

■ 0.5m～1.0m未満

■ 0.5m未満

2階水没

1階軒下～2階床上まで
つかる程度

大人の腰～頭までつかる程度

床上浸水程度

大人のひざまでつかる程度

大向小学校

大向市民センター

向道湖ふれあいの家

木屋の谷ため池ハザードマップ



ため池ハザードマップは、地震等により、万が一ため池が決壊した場合の備えとして、安全な避難活動に役立てるための情報を記載しています。
ため池は、「かんがい」という本来の機能のほかに、多面的機能の一つとして、降った雨を貯留し、下流の農地・農業用施設のほか、公共施設・宅地等への被害を軽減する洪水調節機能も有しています。

わが家の防災メモ

家族で話し合って書き込みましょう

わが家の避難場所：					非常持ち出し品チェックリスト
家族の集合場所：					☐ 懐中電灯 （ ☐ 電池）
緊急時の連絡先：					☐ ろうそく （ ☐ マッチ）
家族の氏名	生年月日	血液型	既往症	携帯電話/会社・学校の連絡先	☐ 携帯ラジオ （ ☐ 電池）
					☐ 水
					☐ 食料品 （ ☐ 缶きり等）
					☐ 医薬品
					☐ 現金・貴重品
					☐ 衣類（雨カッパ・下着類）

メモ

ハザードマップについて

このハザードマップの目的

木屋の谷ため池は農業用水の取水施設であり、二級河川錦川の洪水調節機能を有しています。
しかしながら、近年の大型地震や集中豪雨等によるため池災害が発生しており、また災害に至らなくても非常に危険な状態になり、下流域の住民が避難を余儀なくされる事態が発生しています。
このことから、ため池が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報をわかりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成したものです。

日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。

このハザードマップを目につく場所において、いつでも確認できるようにしておきましょう。

浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。

みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身に付けておくことが大切です。

避難の際の注意事項！！

早めの避難を！

- ◆ 道路や地面が浸水する前に、避難しましょう。
- ◆ 高齢の方・身体の不自由な方・子供等は、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう。
- ◆ 荷物は貴重品・食料・衣料・日用品など必要最小限のものにしましょう。

避難は2人以上で！

- ◆ 裸足・長靴は危険です。ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
- ◆ 近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
- ◆ 避難は必ず歩いてしましょう。車やバイクでの移動は、流されたり転倒することもあり非常に危険です。
- ◆ 避難には、高い場所にある道路を選びましょう。

足下に注意！

- ◆ 普段は見えていた水路・樹・段差など、洪水のときは冠水して見えづらくなっています。十分に注意して移動しましょう。
- ◆ 水深がひざまでであるようなら、無理をせず高所で救助を待ちましょう。
- ◆ はぐれないように、お互いの体をロープで結んで避難しましょう。

雨の具合で危険度をチェックしましょう

危険を感じたらすぐに避難を！



やや強い雨
（1時間に10～20mm）
地面からの跳ね返りで足下がぬれる。
雨の音で話がよく聞き取れない。



強い雨
（1時間に20～30mm）
地面一面に水たまりができる。
側溝・下水・小さな川があふれ、小規模の崖くずれが始まる。



激しい雨
（1時間に30～50mm）
バケツをひっくりかえしたようにふる。
山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。



非常に激しい雨
（1時間に50～80mm）
滝のようにふる。
都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。
土石流などの多くの災害が発生する。



猛烈な雨
（1時間に80mm以上）
息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
雨による大規模な災害の発生するおそれが高く厳重な警戒が必要。

連絡・通報先

周南市 防災危機管理課	2 2 - 8 2 0 8
消防本部	2 2 - 8 7 6 5 （緊急時：1 1 9）
警察署	1 1 0

危険だと感じたら
すぐに連絡

